

「新たな生活様式」推進事業

①抱えていた課題

関西国際空港の玄関都市の泉佐野市は、2019年までインバウンド需要が地域経済に好影響を与えていたものの、全世界的な新型コロナウイルス感染症拡大のまん延で一転、地域の経済が低迷し、いまだ回復していない状況となっている。また定住人口を支えていた外国住民が、新型コロナウイルス感染症拡大により母国等へ帰国したこともあり、それまで維持していた人口10万人を切る状態となっており、顕著に人口減少化社会に直面している状態である。

②課題に対する取組み

(1) ワンストップ産業支援拠点整備事業

創業・企業を含む産業の総合的・包括的な支援窓口を設置するための拠点整備

(2) サテライトオフィス・テレワーク利用促進及びビジネスマッチング支援事業

首都圏等からの新たな生活様式として、サテライトオフィスやテレワークを行う施設設置の支援、及び集約型サテライトオフィス利用者間のビジネスマッチングの支援等の実施

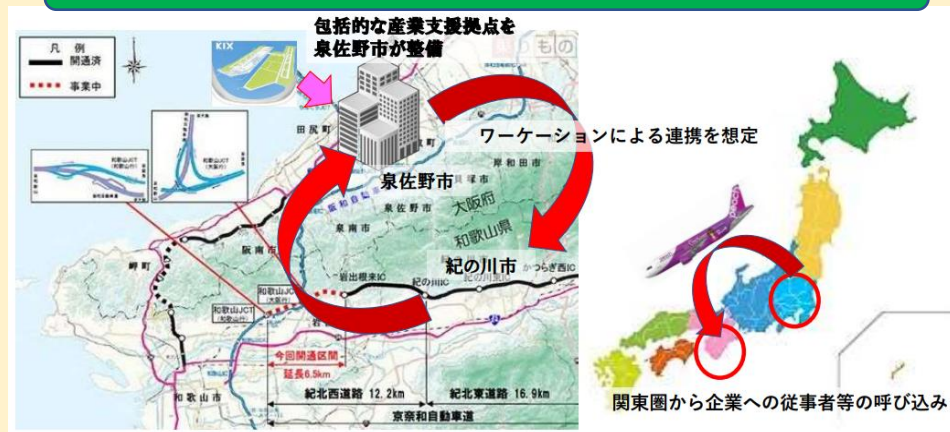
(3) ワークেশョンツーリズム造成関連事業

首都圏等からの研修等のインセンティブ旅行や、ワークেশョンとしてのコンテンツ、及びメニュー開発、ツーリズム造成などの実施、並びに販売拠点の整備

(4) 移住・移転サポートセンター窓口の設置

首都圏等からの企業からの移住・移転のワンストップ相談窓口の設置や、企業へのプロモーション活動を実施

新たな生活様式推進事業連携イメージ



③目指す将来像

関係人口の増加

地域経済の活性化

新たな生活様式の推進

空港玄関都市という立地条件の有効活用

地域間連携の推進

④企業様に向けたメッセージ

コロナ禍を契機に社会にも様々な変化が生じ、先の見えない状況が続いておりますが、テレワークやワークেশョン等、早晚、取り入れられていくべき多様な働き方であると考えています。このコロナ禍を契機として、アフターコロナを見据えた受入れ環境整備を行うという取組みで、幸い関西国際空港を有する玄関都市という好アクセスを生かすこと、さらには本市だけでなく本市から僅か30分に位置し豊かな自然環境を備えた紀の川市と連携することで、事業の相乗効果を生み出せればと考えています。近隣都市の企業様が多様な働き方を推進される際の受け皿となればと考えておりますので、本プロジェクトをご理解頂き、事業の連携も含め、是非ご支援を頂ければと思います。